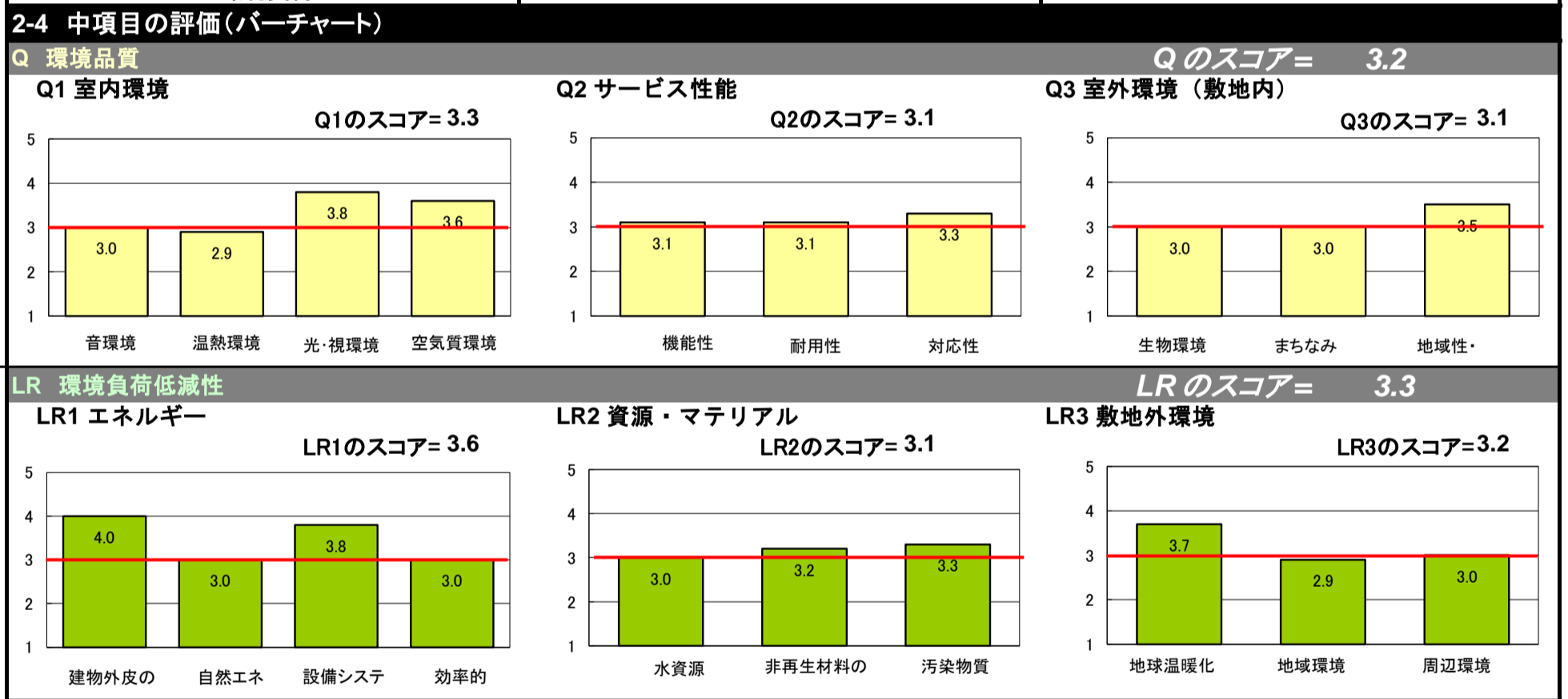
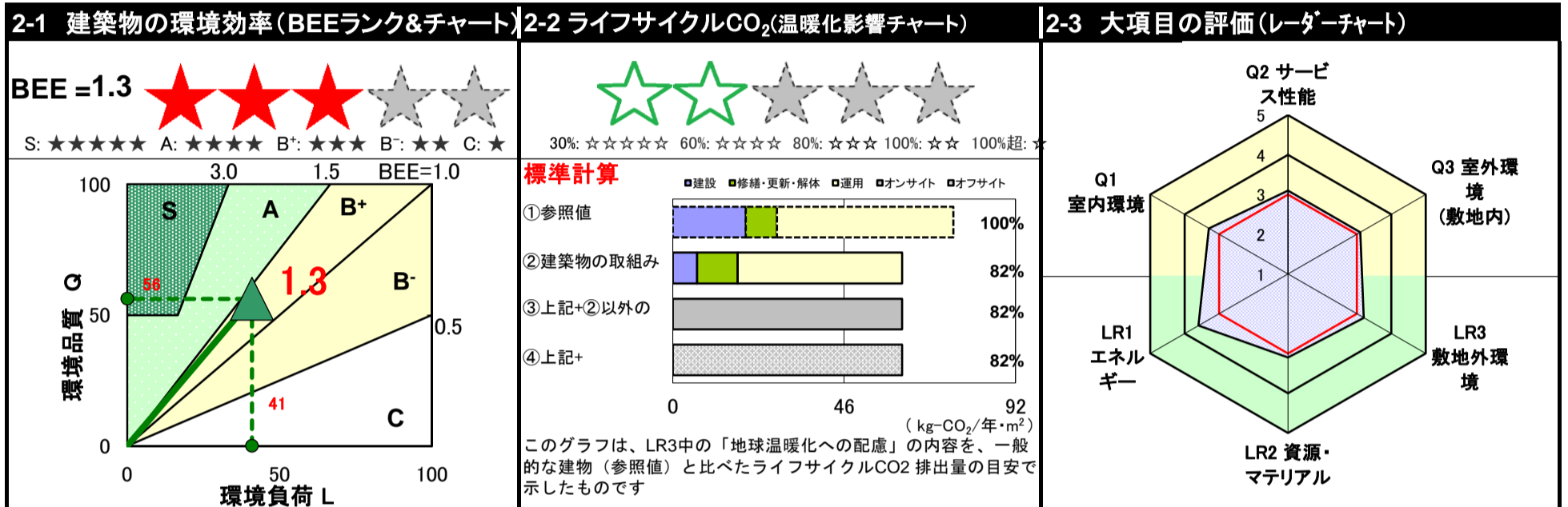


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	グランパレス茅ヶ崎東海岸 新築工事	階数	地上3F
建設地	茅ヶ崎市東海岸南二丁目9170番4	構造	RC造
用途地域	第1種低層、第2種低層、準防火地域	平均居住人員	121 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2022年2月8日
敷地面積	2,649 m ²	作成者	㈱エイアンドエスシステム一級建築士事務所
建築面積	1,346 m ²	確認日	2022年2月8日
延床面積	2,953 m ²	確認者	㈱エイアンドエスシステム一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		その他
総合 低層の建物が広がる周囲の街並みに合わせたデザインとし、潜熱回収型給湯器や節湯型水栓の採用等により、環境に配慮した建物計画としている。		
Q1 室内環境 居室の昼光率を高めに設定し、光・視環境に配慮している。F☆☆☆☆、VOCの放散量が少ない建材をほぼ全面的に採用し、室内空気質環境を良好にしている。	Q2 サービス性能 躯体は劣化対策等級3相当とし、設備は耐用年数の長い配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。視線を遮らない様な樹木の配置、防犯カメラの設置など防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を採用し、非再生資源の使用量を削減している。ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を低く抑えている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される